

むくのきだより 11月号



令和6年11月1日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

赤羽幼稚園・赤羽小学校学校運営協議会 ～ 学校・地域と共に子供を育む ～

園長 中村 美奈子

園庭の柿の実がオレンジ色になり、秋の深まりを感じます。ザクロの実は割れて、真っ赤な粒が光っています。年長ゆり組の子供たちは、柿の実を折り紙で作ったり、ザクロの実を描いたりして飾りました。年少さくら組の子供たちは、折り紙でドングリくんを作って廊下に飾りました。赤羽幼稚園の中も秋でいっぱいです。

10月30日はバス遠足でした。出発の時は、小雨が降っていましたが、井の頭自然文化園に到着したときはすっかりやんでいました。「モルくんがいっぱいいる！」「コウモリはフルーツを食べるんだね。」「リスのしっぽが透明だ！」など、いろいろな発見をしながら動物を見て回りました。その後、園内のスポーツランド(ミニ遊園地)で、メリーゴーランドなど好きなものを選んで乗りました。切符を自分で係の人に渡して、一人で乗りたい子は一人で、友達と乗りたい子は一緒に乗りました。ゆり組の子供たちは、友達と一緒にティーカップをぐるぐる回すなど、楽しんでいました。さくら組の子供たちは、始めは少し緊張した顔でしたが、乗り終わったら「楽しかった！」と言っていました。このような行事が安全に行えるのも、教職員の他に、地域の方がボランティアで付き添ってくださっているからです。今回も、三田地区委員会にお願いして、2人の方にお手伝いいただきました。赤羽こどもまつり、遠足、保育園交流、育てた作物の調理など、様々な場面で赤羽幼稚園を支えてくださっています。ありがとうございます。

今年度、赤羽幼稚園は赤羽小学校と一緒に学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールとなりました。学校運営協議会は、学校と保護者・地域の人々が共に知恵を出し合い、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、地域と共にある学校づくりを進めるための仕組みです。これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく制度です。赤羽幼稚園は、赤羽小学校の併設園なので、一緒に知恵を出し合うことで、子供たちの健やかな成長のために幼小連携をいっそう進めていきます。

赤羽幼稚園・赤羽小学校学校運営協議会は、保護者の代表として PTA 会長、地域の代表として三田地区委員会、同窓会、町会、民生・児童委員、赤羽地区防災協議会の代表の方々、学識経験者、芝地区総合支所協働推進課長、学校・幼稚園長で構成されています。学識経験者として、東京家政大学大学院客員教授 佐藤 暁子 先生に入ってください、子供の成長・発達段階を踏まえた幼稚園教育・小学校教育についてもご意見をいただき、環境・指導の向上も図っています。赤羽幼稚園は、日常的に小学生との交流があり、先日も5年生の音楽の授業に行って、合奏を聴かせてもらったり、演奏方法を教えてもらったりし、楽器への興味を広げていました。1年生からは、秋フェスタに招待され、ドングリ等を使ったおもちゃで遊ばせてもらい、自分たちも作ってみたいという気持ちが高まりました。2年生の運動会のダンスを見せてもらった後は、園庭で踊っている姿もありました。園児は刺激を受け活動が広がり、小学生は優しい気持ちが育っています。

